

# すずむじ

Vol. 14, No. 3 (通巻93号) Jan. 30, 1965

倉敷昆虫同好会発行

連絡事務所 倉敷市幸町 倉敷昆虫館内

本部(倉敷市 岡山大学大原農業生物研究所内)

## 美袋附近のハムシ類

大野正男

筆者は今春(1964)種子島調査の帰路、倉敷で下車、米子行列車に乗りかえて美袋(ミナギ)に向った。5万分の1地図で倉敷附近の地形と植生を調べたところ、この美袋附近がハムシの採集に手頃な採集地と判断されたからである。

しかし、美袋駅で下車、実際に対岸の松尾方面→に足を踏み入れてみたところ、思ったより開けすぎていて、やや期待はずれであった。しかも当日は、午前中は快晴で採集には気温が高すぎるほどであり、午後は午後で激しい雷雨があるという、採集にはあまり芳ばしい日ではなかった。それでも調査を終えてみると得られたハムシは59種に達したので、ここのハムシ相は決して貧弱でないことがわかった。

僅か1日の、しかも狭い地域内の調査ではあったが、岡山県のハムシ相に関しては従来あまり報告されたものが見当たらないので、ここに本県のハムシ相に関する一資料として、今回の調査結果をまとめておくことにする。

### I Criocerinae クビホソハムシ亜科

1. *Lema concinnipennis* Baly  
キバラクビホソハムシ(2 exs.)  
食草: ツユクサ
2. *Lema delicatula* Baly  
キオビクビホソハムシ(2 exs.)

1) 食草は当地で観察したものだけを記す。食草として新記録のものには\*印を付記した。

食草: ツユクサ

3. *Lema diversa f. lewisii* Baly  
ツマキルリクビホソハムシ(2 exs.)  
食草: ツユクサ

### II Clytrinae ナガツツハムシ亜科

4. *Smaragdina nigrifrons* (Hope)  
クロオビナガツツハムシ(1 ex)

### III Cryptocephalinae ツツハムシ亜科

5. *Cryptocephalus approximatus* Baly  
バラリツツハムシ(3 exs.)  
食草: クヌギ

### III Larrosminae ツヤハムシ亜科

6. *Omorphoides cupreatus* (Baly)  
ツヤハムシ(4 exs.)  
食草: タラノキ
6. *Omorphoides cupreatus f. wasai* Chro  
(3 exs.)  
食草: タラノキ

### V Chlamisinae コブハムシ亜科

7. *Chlamisus consimilis* Chûjô  
キョクトワコブハムシ(1 ex)  
食草: コナラ\*

### VI Eumolpinae サルハムシ亜科

8. *Acrothinium gaschkeritschii* (Motschulsky)  
アカガネサルハムシ (1 ex)  
食草: ノブドウ
9. *Basilepta fulvipes* (Motschulsky)  
アオバネサルハムシ (2 exs)  
食草: ヨモギ
10. *Cleoporus variabilis* (Baly)  
ヒトミヒメサルハムシ (1 ex)
11. *Colaspoma dauricum* Mannerheim  
イモサルハムシ (5 exs)  
食草: ヒルガオ
12. *Colposcelis signata* (Motschulsky)  
ヒメキバネサルハムシ (8 exs)  
食草: ヤマハギ, ササゲ
13. *Hyperaxis fasciata* (Baly)  
クロオビカサハラハムシ (1 ex)  
食草: オニグルミ\*
14. *Lytsthes ater* f. *testaceipes* Pic  
キアシコフキサルハムシ (1 ex)  
食草: オニグルミ
15. *Scelodonta lewisii* Baly  
ドウガネサルハムシ (1 ex)  
食草: ヤブカラシ
16. *Xanthonia placida* Baly  
カサハラハムシ (11 exs)  
食草: クワ

## VII Chrysomelinae ハムシ亜科

17. *Gastrolina depressa* Baly  
クルミハムシ (16 exs)  
食草: オニグルミ
18. *Gonioctena rubripennis* Baly  
フジハムシ (31 exs)  
食草: メドハギ, フジ
18. *Gonioctena rubripennis* f. *plagipennis*  
Achnard (12 exs)  
食草: メドハギ, フジ
19. *Plagioderma versicolora distincta* Baly  
ヤナギルリハムシ (1 ex)  
食草: シダレヤナギ

## VIII Galerucinae ヒゲナガハムシ亜科

20. *Aulacophora femoralis* Motschulsky  
ウリハムシ (2 exs)  
食草: スイカ
21. *Calamircrus chujoi* Nakane

- ニセキバラルリヒメハムシ (3 exs)  
食草: センニンソウ\*
22. *Calamircrus cyaneus* (Jacoby)  
ハラグロルリヒメハムシ (12 exs)  
食草: センニンソウ
23. *Fleutiauxia armata* (Baly)  
クワハムシ (5 exs)  
食草: クワ
24. *Galerucida nigrovacuolata* Baly  
イタドリハムシ (幼虫)  
食草: イタドリ
25. *Hydrogaleruca vittaticollis* (Baly)  
イチゴハムシ (幼虫)  
食草: ミゾソバ

## N Alticinae ノミハムシ亜科

26. *Altica caerulea* (Baly)  
ヒメカミナリハムシ (2 exs)  
食草: エノキグサ
27. *Altica cirsiicola* Ohno  
アサミカミナリハムシ (2 exs)  
食草: ノハラアサミ
28. *Altica fragariae* (Nakane)  
イチゴカミナリハムシ (1 ex)  
食草: オヘビイチゴ
29. *Altica himalayensis japonica* Ohno  
ヒメカミナリハムシ (1 ex)  
食草: ゲンノシウウコ\*
30. *Altica oleracea* (Linne)  
ホソカミナリハムシ (2 exs)  
食草: オオマツヨイグサ
31. *Altica viridicyanea* (Baly)  
コカミナリハムシ (6 exs)  
食草: ゲンノシウウコ
32. *Apthomalta angustata* (Baly)  
ニセカミナリハムシ (1 ex)  
食草: マケビ
33. *Argopus balyi* Harold  
ペーリーマルトビハムシ (4 exs)  
食草: ボタンヅル
34. *Argopus clypealus* Baly  
オオキイロマルノミハムシ (9 exs)  
食草: センニンソウ
35. *Argopus punctipennis* (Motschulsky)  
キイロマルノミハムシ (1 ex)  
食草: ノハラアサミ
36. *Chaetocnema ingenua* Jacoby  
キアシヒサゴトビハムシ (2 exs)

- 食草：エノコログサ\*
37. *Heriptyxis blagideroides* (Motschulsky)  
ルリヒゲナガマルノミハムシ (3 exs. )  
食草：ムラサキシキブ
38. *Hemneophaga adamsii* Baly  
ヒメトビハムシ (8 exs. )  
食草：エノキグサ
39. *Longitarsus lewisii* (Faly)  
オオバコトビハムシ (4 exs. )  
食草：オオバコ
40. *Longitarsus nitidus* Jacoby  
オオヒルガオトビハムシ (1 ex. )  
食草：ヒルガオ
41. *Luperomorpha fumesta* (Faly)  
クワノミハムシ (1 ex. )  
食草：クワ
42. *Luperomorpha tenetrosa* (Jacoby)  
キアシノミハムシ (16 exs. )  
食草：ヤマハギ
43. *Lyttharia salicariae* (Paykull)  
トラノオトビハムシ (1 ex. )  
食草：コナスビ\*
44. *Mantura fulvipes* Jacoby  
カタバミトビハムシ (1 ex. )  
食草：カタバミ
45. *Nonarthra cyaneum* Baly  
ルリマルノミハムシ (1 ex. )
46. *Phyllotreta striolata* (Fabricius)  
キスジノミハムシ (20 exs. )  
食草：ダイコン、イヌガラシ
47. *Pseudodera xanthospila* Baly  
フタホシオオノミハムシ (1 ex. )  
食草：サルトリイバラ
48. *Pseudoliprus hirtus hirtus* (Faly)  
クビホソトビハムシ (37 exs. )  
食草：ノブドウ
49. *Psylliodes punctifrons* Baly  
ナノミハムシ (17 exs. )  
食草：ダイコン
50. *Sphaerodema akebiae* Ondo  
アケビタマノミハムシ (2 exs. )  
食草：アケビ
51. *Sphaerodema chujoi* Ondo  
ボタンズルタマノミハムシ (1 ex. )  
食草：ボタンズル
- 51'. *Sphaerodema chujoi* f. *pseudoplacidum*  
Ondo (1 ex. )
52. *Sphaerodema fuscicorne* Baly  
センニンソウタマノミハムシ (15 exs. )

- 食草：センニンソウ
53. *Sphaerodema japonum* Baly  
ツユクサタマノミハムシ (11 exs. )  
食草：ツユクサ
54. *Trachyapthona sordida* (Baly)  
ヘクソカズラトビハムシ (10 exs. )  
食草：ヘクソカズラ

## X Hisoinae トゲハムシ亜科

55. *Dactylispa angulosa* (Solsky)  
ヒメキベリトゲトゲ (2 exs. )  
食草：コナラ

## XI Cassidinae カメノコハムシ亜科

56. *Cassida fuscorufa* Motschulsky  
ヨモギカメノコハムシ (幼虫)  
食草：ヨモギ
57. *Cassida japona* Baly  
イノコズチカメノコハムシ (2 exs. )  
食草：イノコズチ
58. *Cassida nebulosa* Linné  
カメノコハムシ (4 exs. )  
食草：アカサ
59. *Thlaspida hiramosa japonica* Spaeth  
イチモンジカメノコハムシ (6 exs. )  
食草：ムラサキシキブ

ハムシ相概観

たつた1日の採集調査でこの地方のハムシ相を考察することは難しいが、2、3気のついた点を摘記してみることにしよう。

1. *Omorphoides cupreatus* は合計52頭採集したが、この中には typicalなドウガネ系個体の他に *yusai* と呼ばれるアオグロ系個体が3頭混っていた。本邦では *yusai* の混る所と全く混らない所とがあるがこの地方は、少ないながら *yusai* の混獲する地域であることがわかった。

2. *Gonioctena rubripennis* フジハムシは合計43頭採集した。この中に *plagiennis* と呼ばれる翅柄に黒条の現われる個体が1頭混っていた。*plagiennis* は北日本には全く産せず、また四国や九州でも見かけられない。主として東海から中国地方にかけて分布する型のようにである。しかしまだ詳細な分布型が判明している訳ではない。中国地方だけでもその混獲率に著しい地域差が認め

られる。将来の研究にまつことにしよう。

3. ここで得られた *Pseudoliprus hirtus* は、♂♀で体色を異にする typical なもので、近畿以東（四国の東部を含む）に分布する♂♀同色の *flaviceps* ではなかつた。この分布型から、この地方がはっきり西日本型に入ることがわかる。

4. *Colastoserus dauricus* は全部で5頭採集した。しかしそれらはすべてアオプロ系のもので、ドウガネ系のもの、あるいは緑色系のものは1頭も混つていなかった。これら諸系の混雑率もまた地域差を現わすものである。材料が出ないのではっきりしたことはいえないながら、この地方がアオプロ系を優位とする地方であることは興味深い。

5. *Argopus clypeatus* と *balyi* とは普通棲み分けをしているが、この地域では両種を同じ場所から採集することができた。興味深い事実である。

6. *Altica himalayensis japonica* は大体東京以北に分布する種であるが、このような種がこの地域で採集できたことは興味深い。しかも食草がアカバナ科のものでなくゲンノシユウコであったことも注目されてよい。

7. その他 *Chlanisus consimilis*, *Lythararia salicariae* なども得られたが、これらも既知産地の少ない珍しい種類である。

（東洋大学生物学研究室）

## 県北部のカミキリムシ採集品目録

### — 才 二 報 —

竹内幸夫・道信 順

さきに、すずむし vol. 13 No. 2 に 125 種を記録してありますが、その後判明したもの、及び以後採集したものを報告します。

#### PRIONINAE

ノコギリカミキリ亜科

#### 126. *Prionus sejanctus*

ニセノコギリカミキリ

Ⅷ. 11. 62, 津山市, 竹内採集。

#### ASEMINAE

マルクビカミキリ亜科

#### 127. *Asemmu anurense*

マルクビヒラタカミキリ

Ⅶ. 21. 57, 久米郡久米町, 竹内採集。

#### LEPTURINAE

ハナカミキリ亜科

#### 128. *Leptura latipennis*

ハネビロハナカミキリ

Ⅶ. 7. 64, 苫田郡花知山, 薪材にて, 道信採集。

#### 129. *Strangalontha tenuis*

アオバホソハナカミキリ

Ⅶ. 7. 64, 苫田郡花知山, ガマズミ花上にて, 道信採集。

#### 130. *Pyrrhona laeticolor*

ヘリウスハナカミキリ

Ⅴ. 26. 63, 苫田郡倉見, カエデの花上にて, 道信採集。

#### CERAMBYCINAE

カミキリ亜科

#### 131. *Anaglyptus nipponensis*

トガリバアカネトラカミキリ

1964年, 滝山, 竹内採集。

#### LAMINAE

フトカミキリ亜科

132. *Pseudocalamylus japonicus*  
ドウボンカミキリ  
VI. 28. 59, 苫田郡上寄原村  
VI. 5. 60, 苫田郡阿波村, たたき網に  
て, 竹内採集。
133. *Menesia flavotecta*  
トウキウヒメカミキリ  
VI. 10. 60, 苫田郡奥津町, たたき網  
にて, 竹内採集。
134. *Menesia kasugensis*  
カスガキモンカミキリ  
VII. 5. 64, 勝田郡滝山, 倒木にて, 竹  
内採集。
135. *Sybra ordinata*  
アヤモンチビカミキリ  
VII. 30. 62, 英田郡後山, 竹内採集。
136. *Pterolothia japonica*  
エゾサビカミキリ  
VI. 19. 64, 勝田郡滝山, 竹内採集。
137. *Pterolothia amulala*  
ワモンサビカミキリ  
VII. 15. 56, 久米郡久米町, 竹内採集。
138. *Phodopina levisi*  
セミスジコブヒゲカミキリ  
VII. 23. 56, 久米郡久米町  
VII. 22. 56, 勝田郡滝山, 竹内採集。
139. *Doius divricatus*  
ドイカミキリ  
VI. 9. 63, 苫田郡花知山, 竹内採集。
140. *Eumecocera unicolor*  
クロニセリンゴカミキリ  
V. 10. 64, 英田郡西栗倉村シナノキ  
葉上にて, 道信採集。
141. *Mecyniptus tubicornis*  
イタヤカミキリ  
VII. 10. 56, 久米郡久米町, 竹内採集。
142. *Photaloscelis bifasciatus*  
フタオビアラゲカミキリ  
VII. 14. 63, 苫田郡花知山  
VII. 5. 64, 勝田郡滝山, 竹内採集。
143. *Acaloletta sejuncta*  
ニセビロウドカミキリ  
VII. 6. 57, 久米郡久米町, 竹内採集。
144. *Exocentrus fasciolatus*  
クモガタケンカミキリ  
VI. 25. 61, 苫田郡泉山,  
VII. 31. 62, 英田郡後山, 竹内採集。
145. *Rhopaloscelis maculatus*  
フタモンアラゲカミキリ  
1964年, 勝田郡滝山, 竹内採集。
146. *Leioptus stillatus*  
ゴマダラモモブトカミキリ  
1964年, 勝田郡滝山, 竹内採集。

近 着 交 換 誌 紹 介

この欄の雑誌は事務所に整理保管されていますからご利用下さい。

- 0 誘蛾燈 NQ 17 誘蛾会
- 0 KOFASANA Vol. 3 No. 2 No. 3  
Vol. 4 No. 1 久留米昆虫同好会
- 0 Nature Study 大阪自然科学研究会  
Vol. 1 No. 2~Vol. 10 No. 8(一部欠)
- 0 SATSUMA Vol. XII No. 3 鹿児島昆虫同好会  
Vol. XIII No. 1 同 上
- 0 アルボ NQ 15~NQ 17 同 上
- 0 蛾類通信 NQ 33 日本蛾類学会
- 0 広島虫の会雑報 第4号 広島虫の会
- 0 駿河の昆虫 NQ 44 NQ 45 静岡昆虫同好会
- 0 熊本昆虫同好会報 NQ 22 熊本昆虫同好会
- 0 愛媛の自然 1964 3. 愛媛自然科学教室
- 0 ひらくら Vol. 7 NQ 2~NQ 12  
Vol. 8 NQ 1~NQ 4 三重昆虫談話会
- 0 筑紫の昆虫 Vol. 9 NQ 1 NQ 2  
Vol. 10 NQ 1 筑紫昆虫同好会
- 0 Danturi NQ 5 岩手虫の会
- 0 MUSHI MEZURU 鈴木 裕
- 0 小豆島の自然 大阪自然科学研究会
- 0 続小豆島の自然 同 上
- 0 友ヶ島の自然 同 上
- 0 信貴, 生駒の自然 同 上

—1964年9月まで—

## 岡山県の蛾 (4)

- イボタガ科 -

楨 本 精 二

大型の蛾で、ヤマムガ科の成虫とよく似た翅型をしているが、特異な木の目を思わせる波状線と前翅の眼状紋で他種と容易に区別することが出来る。早春の蛾で、灯火に飛来して止まっているので、日中灯火を探すと採集できる。

目録の記載については岡山県の蛾(2)を参照されたい。

記

イボタガ科 Family BRAHMAEIDAE  
Genus *Brahmaea* Walker, 1855

1 イボタガ

おとしぶみ

*Brahmaea uallichii japonica* Butler

Ⅲ. 23. 1963 倉敷市平田 小野 洋  
が倉敷昆虫館に展示されている。

岡山県下の記録としては、和気郡伊里村<sup>(1)</sup>津山市<sup>(2)</sup>の記録がある。県南地方では3月下旬より、県北では4月上旬頃発生する早春の蛾で、採集例が多くない。

引用文献

- (1) 岡山県：岡山県内生物目録，1930  
(2) 片山野八：華作産蝶蛾類目録．岡山と昆虫，1959

## モンクロベンカミキリの新産地

楨 本 精 二

*Purpuricenus lituratus* Ganglbauer

比較的少ない種であるが、筆者は1963年5月7日、吉備郡昭和町下倉橋一松尾一御坊山一畑のコースで蛾の採集に行った際、御坊山の斜面でクヌギ類の若木の葉の上で多数交尾中の本種とヘリグロベンカミキリを発見、内本種5exsを採集持ち帰った。青野氏の教示で非常に稀らしいものとのことなので、新産地として発表します。御教示下さった青野氏に感謝します。

## 浅原峠のトラフシツミ

横 田 正 義

6月7日午後3時ごろ浅原峠にてトラフシツミ1匹を採集(実はここにはミドリシツミも多数発生していたのでそれとまちがえて採ったものだが)次いで6月13日この日わりあい多数の本種を見るそのうちの1頭を採集これもらであった。なお今年の春に総社市総社西中内でバラの花に飛来した本種1♀を採集した。ついでに、6月13日に

浅原峠でウラボダランジミ1♀(本種は大覚寺付近でもとれているが)それにウラキンシジミ1♀を6月8日西中内で採集したことも付け加えておく。いずれもわりあい稀な種であるとのことなのでいちおう報告しておきます。なおこれらは僕が保存しています。

## トラハナムグリ

秋 山 新 一 郎

5月16日、Ⅲ時頃 天気晴 トラハナムグリ1匹を、採集した。場所 清音大覚の辺り

友達の横田と、軽部山に甲虫採集に行き、山の下の道を、探していたら、高さ1m前後のバラ科の植物の花の中に、うすくまっていたトラハナムグリを採集した。右手は山、左手は田園であり、回りを、しらみつぶしに、探してみたが、その場以外は、一匹も獲得できなかった。トラハナムグリは、体長(足をふくめず)2cm前後(昆虫館のより2回りほど大きい)全体として、黄色が主となり黒色毛が、所々ある。

## 1964 年同定会の蛾について

## 楨 本 精 二

去る8月23日(日)に倉敷昆虫館で行なわれた1964年度同定会で、当昆虫館未展示品があったので参考記録として報告します。

## 記

## Sminnidae ススメガ科

## 1. クロコズメ

*Hyloicus caliginus* Butler

V頃, 1964 都窪郡吉備町 採集者不詳。  
灯火に飛来したのを採集。県南初記録<sup>(1)</sup>

## Noctuidae ヤガ科

## 2. アカバキリガ

*Orthosia carnipemis* Butler

Ⅳ, 10, 1964 倉敷市倉敷駅 山砥克己採集。片山豊八が津山市にて採集した記録あり。<sup>(2)</sup>

## 3. スジシロキョトウ

*Leucania insecta* Walker

XI, 4, 1963 倉敷市平和町 田辺恒彰採集。片山豊八が津山市にて記録済<sup>(2)</sup>

## 4. ウスエグリバ

*Calpe thalictri* Berkhausen

K, 20, 1963 倉敷市栄町 田辺恒彰採集。小田郡美里町明治<sup>(3)</sup> 津山市大谷<sup>(2)</sup> 黒沢山<sup>(4)</sup>の記録あり。

## Notodontidae シヤチホコガ科

## 5. ノヒラトビモンシヤチホコ

*Drymonia bosalis* Wilenon et South

Ⅲ, 16, 1964 倉敷市栄町 田辺恒彰採集。吉備郡足守町福谷<sup>(3)</sup>の記録あり。

## Lymentriidae ドクガ科

## 6. カシワマイマイ

*Lycantria mathera auroa* Butler

Ⅵ, 1, 1964 倉敷市栄町 田辺恒彰採集。小田郡城見村<sup>(3)</sup> 玉島市長尾<sup>(3)</sup> 苫田郡加茂町奥津川<sup>(2)</sup>の記録あり。

## 7. スカシカレハ

*Amarilla subpurpurea subpurpurea* Butler

Ⅷ, 15, 1964 広島県道後山 田辺恒彰採集。広島県の2, 3の文献<sup>(5)</sup>には記録されておらないので報告する。

## Thyatiridae トガリバガ科

## 8. サカハチトガリバ

*Kurama mirabilis* Butler

Ⅷ, 10, 1964 倉敷市倉敷駅 山砥克己採集。岡山県未記録種である。

## Geometridae シヤクガ科

## 9. ナミスジチビヒメシヤク

*Scopula personata* Prout

Ⅷ, 15, 1964 倉敷市戎町 田辺恒彰採集。岡山県未記録種と思われるが、シヤクガ科以下の文献未整理のため決定を保留する。

## 10. ホソバナミシヤク

*Microloba bella bella* Butler

Ⅷ, 21, 1964 高梁市広瀬 田辺恒彰採集。都窪郡庄村<sup>(3)</sup> 津山市小田中<sup>(2)</sup> 黒沢山<sup>(4)</sup>の記録あり。

## Zygaenidae マダラガ科

## 11. リンゴハマキクロバ

*Illiberis nigra nigra* Leech

Ⅵ, 1964 都窪郡吉備町 採集者不詳。日本原産手池<sup>(2)</sup>の記録あり。

## Pyrallididae メイガ科

## 12. キササゲノメイガ

*Sincomphisa plagialis* Wilenon

Ⅷ, 8, 1964 倉敷市宮坂町 田辺恒彰採集。津山市小田中<sup>(2)</sup> 総社市久代<sup>(3)</sup>の記録あり。筆者もⅧ, 7, 1964 新見市井倉で採集した。平地、山地に産するが少い種である。

同定は北隆館原色昆虫大図鑑1(1959)によった。

## 参考文献

- (1) オザむし 14(1):1-4 1964  
楨本精二 岡山県の蛾(2)
- (2) 昭和34, 10, 15「岡山と昆虫」片山豊八 美作産蛾類目録
- (3) 昭和5年 岡山県 岡山県内生物目録
- (4) 1960, 11, 23 美作の自然(6)  
片山豊八 黒沢山採集記-黒沢山蛾類一覧表  
1961, 11, 23 美作の自然(7)  
道信 順 黒沢山「蛾類一覧」に続いて
- (5) 比和科学博物館研究報告(4):9-19  
中村慎吾 広島県北部山地の蛾類(第1報)  
比和科学博物館研究報告(6):1-4  
中村慎吾 広島県北部山地の蛾類(第2報)  
比和科学博物館研究報告(6):9-18  
中村慎吾, 中村豊二, 清水健一 広島市とその周辺の蛾類目録。

## ドクトル・ザーメン採集回顧録 (5)

ドクトル 三たび ダウンを喫す - その1 -

ドクトル・ザーメン

## 第1ラウンド

アブラゼミのゲラゲラという鳴き声があたりの空気を沸きたたせ、ドクトルの体から脂汗をしぼり出させていた。何を考えてセミは鳴いているのであろう。巻かれたゼンマイの切れるまで鳴くのだろうか。その日、連続1000分間の夏期補習授業を終えたドクトルの前に、あわただしく一通の速達が届けられた。難波道孝君からのものである。同君は広島銀行に勤務せられ、広島地方で大活躍している若手のホープである。8月8、9日両日にわたって宮島で開かれる採集会の案内であった。特に8日にはミヤジマトンボを目標にしているとのことであった。珍しいトンボと聞けば目のないドクトルのこと、チャンスがあれば是非にと同伴希望をすてに申し出ていたので、わざわざ御連絡下さったのであった。友人は有難いものである。

預金も引き出し、捕虫網などリュックにつめこんでいつでも出かけられる準備をととのえた。およそリュックに必需品をつめこむ時ほど楽しい時はまたとないであろう。珍品が実際に手に入った時は網を持つ手がふるふるほど興奮するものであるが、それはいつもというわけにはいかない。しかし採集に出る前はあらゆる可能性を無限に秘めているのである。ミヤジマトンボが太陽が陰るほど空一面に飛び交い、ドクトルが網を1回うち振ると数十匹もいちどにガサガサ入ってくるのである。三角紙に封じこまれたミヤジマトンボがいっせいに羽ばたき、ドクトルふわりと空中に持ち上げられてまたフワリと着陸したところがミヤジマトンボの発生の秘境であるのである。

悦に入って鼻歌まじり、カトレヤに水でもやろうとまだ夢見心持で温室に入った。ブーンという羽音に太平の夢を破られ、さつと身をかがめると一匹のアシナガバチが何喰わぬ顔をして飛び去った。畜生馬鹿にするな、ドクトルをおどしやがって！せつかくの気分がこわれてしまうことおびたがしい。くるのなら正々堂々と来い。と、またブーンと来た。さては来た方と思ったが、反射的に身をかがめてしまったのが我ががら情ない。またしても素知らぬ顔で通り過ぎた。こうなつては仏の顔も2度である。売られた喧嘩は買わずにばなるまい。とは思ったが果し状の届け先がわからない。

かくなる上は草の根分けてもとあちこち押し廻したら、温室と納屋との僅かの隙間に一家を構えていた。しかも十握大の豪壮なものである。思わず手にした椀切れて仁義をきってみると、2、3匹気の早い奴が飛び出して来やがった。またついでみるとこれまた2、3匹飛び出した。さまを見やがれ、どんなもんだ。あわてて逃げ出していくではないか。これは面白い。ひっかけ廻してやれとすこし近づいてやって見たら、喧嘩仕度も充分にとび出した1匹が砕めがけて立ち向かって来た。伸ばした腕の先に棒を持っているのだから、棒をめぐけてということは腕をめぐけて、すなわちドクトルの喉を目がけてということになる。来るな！と思つたら、はや左眼の下に喰いついていた。敵ながら天晴れな早業である。網を持っていたらすぐネットに入れていたのだが、椀切れてあつたばつかりに残念至極。いやしくもドクトルに、しかも急所を目がけて刃向かってくるとは見上げた奴だ。しかし、勝負にも常道というものがある。禁じ手がある筈だ。まず名乗りをあげていざ尋常に勝負に及ぶべきものである。ともあれ眼の下がずきずき痛み出した。勝負は一瞬に決まったのである。失敗した、よりによって宮島行きの前日にハチにやられるとは。しかも痛み出しただけではすまない。左眼の下がみるみる腫れてきた。一応は敗北を認めて、あわてて部屋へ引き上げた。アンモニア水をつけるやら、水で洗うやら大騒ぎのあとすこし落ちついてくると、明日の宮島採集のことが気にかかり出した。とても採集どころではない。まずは重井ドクトルに御相談せねばと殊勝にも電話を入れてみた。“一晩寝たらすつかりよくなりませうよ”との素人ドクトルの判断も、とんだ見込違いというものだ。すぐ注射をしなれば！放擲しておいては大変だとの御宣託である。どの面下げてお目にかかれようか。ドクトルの胸中お察しあれ。左眼のあたりがふくれてはほほったい。顔の左半分が急に重くなって、目に映る像が左に90度傾いてきた。ものの十分もたぬうちに重井ドクトル、これまた左に傾きながら駆付けて下さった。

さいわいなるかな

医者を知人にもてるもの ……………  
である。趣味がとりもつ縁は有難いものである。



いったん事ある時は実に心丈夫である。重井病院がバックで百万の援軍を得た心持。病気がすこしもこわくない。注射大小2本、内服薬1種、塗り薬1種をうちこんでさしもの堅陣もゆるぎ出し、翌日再び弾薬をうちこんで院長のお許しを得た。かくて、すこし残っている腫れは色眼鏡でカモフラージュして夜行列車に乗りこんだ。

鈍行は1本、しかも広島に夜明けにつくという便利さは130%もの混みようであった。そこはしかし旅慣れたドクトルのこと、すぐに空席にわりこんですわりこんだ。広島では難波君の出迎えをうけ、同君のアパートへひとまず落ちつく。さすがに観気違いだけのことはある。部屋には大きな標本箱を幾重にも積み上げ、机の上はきちんと整理されており昆虫図鑑などが置かれている。同君ある限り、広島銀行の将来は安泰であろう。またわが食蚊昆虫同好会の将来もさらに輝かしいものとなる。ミヤジマトンボの標本、サツマシジミ、ムラサキツバメなどの見事な標本、大山で採り尽くしてしまったのではないと思われるほど多くのゼフィロス標本などを見る。飼育中のムラサキツバメは優で蛹を頂いた。

宮島口で待ち合わせることに瞬時、リーダーの宮島の主、沢野教授のどこやかな温顔に接した。落ちついた、自信に満ちた人のみの持つおだやかさである。初対面であったが、ドクトル遠くからでもすぐに沢野教授と察した。林氏の童顔も見える。6人のメンバー等揃って舟で宮島を一周し、目的地にその都度上陸、第1上陸地でミヤジマトンボ(♂)を5匹採集した。やはりドクトルザーマン♀には遂にお目にかかれたなかつたが、日本ではここにしかない珍種である。最初にネットに入れた時はこの年になつても(?)心のときめく思いである。この5匹がその日の全収穫物となつたが、意気まことに天をつき広島をひき上げた。世界広しといえどもミヤジマトンボを5匹も持っている者は何人いるであろうか。5人とは出まい。かくてドクトル・ザーマン、ミヤジマトンボの収集にかけては世界のベスト5にその名を連ねることとなつたのである。勿論直ちに腹をわけて精巢をとり出したのは言うまでもない。

ハチの奇襲にもめげずに遠征の実をあげたわけで、鬨りのち晴れといったところであった。帰ってからは、網を常備している。勿論ハチを捕えるためである。かくて今日まで敵討ちに及ぶこと無慮数百匹、いざ来年来年ハチの種族の尽くるまでこの勝負止めるわけにはいかない。

## 第2ラウンド

8月13日、ドクトルの専門とはいささかかけはなれてはいるが、岡山県高等学校理科協議会地学分科室で、成羽、大賀、高山市、井原地方の地質見学に出かけた。貸切りバスで美袋の断崖、枝の不整合、川合のV字谷、扇状地、大賀テグケン、高山市、飯越の不整合、東三原の礫岩、日南の石灰洞(蛇の穴)、川相の河岸段丘の順に見学、カラスライド製作のための撮影に出かけたわけであった。

飯越の不整合はバスから降りてかなりの時間山中を歩かねばならず、汗をふきふきあえいだったのである。これを見学後再びバスに乗ってから、途中どうもうるしの柔肌に触れたような気がしてきた。もしもそうなら汗をふきふきしているのが被害面積はいつそう大きくなっていることだろう。とんでもないことになつたぞ、夏にウルシにまけるとかなりひどくなるものだ。

しかし、やがてそれも忘れて快適なドライブを楽しんだ。高山市は面白いところだ。ここは水の便が悪い所で、井戸水にも不自由しているのだそうだ。明治の頃大火に見舞われたが消そうにも水がない。とつさのことに液体であれば何でもよいと思つたのだろう、人糞、尿まで汲み出してぶつけ懸命の消火に努めたがその甲斐もなく全焼した。溺れる者は糞をもつかむ心持であつたのだろう。いやくさいのくさい人糞の焼けたたれる臭で臭気紛紛、大変なものであつたらう。それにしても村民の無念はさぞやと思われる。以後こうした無念やるかたない思いを締めぬ念もこめて焼くそと呼ぶようになったのである。この大火以前の辞書にはかかる言葉はのっていない筈である。真偽のほどはさておき、念のためにお調べのほどを。

ともあれ帰宅してよく冷やしたビールで疲れも癒えた頃、またぞろウルシに触つたらしいことを思い出した。自己暗示にかかつたわけか、ドクトルの予期通り翌日に両腕、右手の一部にかぶれ症状が現われた。予想があつたことで反面満足念を禁じ得ない奇妙な心持となつたが、案ずるほどのこともなく、そのまま放つておいたら一週間ほどで全治した。軽くスリッパダウンした程度ならんか。

## 目 次

大野正男：美袋附近のハムシ類 .....	1
竹内幸夫・道信 順： 県北部のカミキリムシ採集品目録 (第二報) .....	4
榎本精二：岡山県の蛾(4) イボタガ科 .....	6
榎本精二：1964年同定会の蛾について .....	7
お と し ぶ み	
榎本精二：モンクロベニカミキリの新産地 .....	6
横田正義：浅原峠のトラフシジミ .....	6
秋山新一郎：トラハナムグリ .....	6
ドクトル・ザーメン：	
ドクトル・ザーメン採集回顧録(5) ドクトル三たびダウンを喫すーその1ー .....	8
近藤交換誌紹介 .....	5

医 療 法 人

重 井 病 院

倉 敷 市 幸 町

TEL 代表 (22) 3 6 5 5